

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
医療事務科											
応急処置											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	選	種別	講義	時間数	15	単位	1
担当教員	加藤秀樹			実務 経験	無	職種					
授業概要											
救急法に関する知識と技術について学ぶ。											
到達目標											
応急手当の方法としてAEDの使い方、気道異物除去の方法、倒れている人への対応、出血している人への対応、けがをしている人への対応、熱傷の対応、溺れている人への対応方法を理解することを目標とする。											
授業方法											
応急手当の方法としてAEDの使い方、気道異物除去の方法、倒れている人への対応、出血している人への対応、けがをしている人への対応、熱傷の対応、溺れている人への対応方法を説明する。											
成績評価方法											
授業への取り組み、課題等を含めて総合的に評価する。											
履修上の注意											
授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス(応急処置のポイントについて理解できる)										
第2回	AEDの使い方(1)(AEDについて理解できる)										
第3回	AEDの使い方(2)(AEDを使用した心肺蘇生について理解できる)										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
医療事務科	
応急処置	
第4回	AEDの使い方（3）（AEDを使用した心肺蘇生、実演について理解できる）
第5回	気道異物除去方法（1）（気道異物除去方法について理解できる）
第6回	気道異物除去方法（2）（気道異物除去方法について理解できる）
第7回	倒れている人への対応方法（1）（倒れている人への対応について理解できる）
第8回	倒れている人への対応方法（2）（倒れている人への対応について理解できる）
第9回	出血している人への対応方法（1）（出血している人への対応について理解できる）
第10回	出血している人への対応方法（2）（出血している人への対応について理解できる）
第11回	けがをしている人への対応方法（1）（けがをしている人への対応について理解できる）
第12回	けがをしている人への対応方法（2）（けがをしている人への対応について理解できる）
第13回	熱傷の場合の処理方法（1）（熱傷の場合の処置方法について理解できる）
第14回	熱傷の場合の処理方法（2）（熱傷の場合の処置方法について理解できる）
第15回	溺れている方への対応方法（溺れている人への対応方法について理解できる）